努力しつゝあるものがあるか？。何人が一九一四年の大戰に繼性となつて、平和を叫んだか？。今日の教會程無能なものがあらうか？。さらば今日の教會は何故かく無能であるか？。それは、今日の教會の維持者が凡て資本家であり、官僚であり、軍閥であるからである。今日の教會の獻金は、日本に於てすら、國家に對する稅金より遙かに高い、米國では日本より低くなつて居ろが、それでも、貧民階級が近づくことが出來ぬ資本家的のものである。カラーもかけず、カフスも附けずに、毎日勞働して居る細民の貧民は、納士淑女の集まる教會に興味が無い。經濟では過去二十年間に、貧民區内で百五十の教會が潰れた。そして、自殺が十倍以上になつた之は事實である。今日の教會組織には、貧民の近づけ無い或ものがあろ、之を東京にしても大阪にしても。今日の傳道師牧師は獨立を念ぐが故に、資本家を狙ふ。そして資本家の教會こ、勞働者の教會こは別々に設けざるを得なく無つた。然し人數から云へば、勞働者こ、貧民の數は、大抵こ の國でも中產階級の三倍であるから。傳道の最も必要な、そして最も困難な階級は捨てられて、いつも中產階級の傳道のみが念がれ、社會は永にに不潔な狀態で殘る。あゝ無能な教會主義よ？、然しそれかと云つて、私は、人間の集團としてのイエスキリストの結社を否定するものでは無い。イエスは、辻の乞食また淫賣婦までに手を延ばし給ふた。イエスの福音は路上にあつた。會堂にあつた。監獄署の門こ、四辻の失業者こ、婚姻の席にあつた。そして、今日の教會は石こ煉瓦の建築物に熱心をする。あゝ無能なる教會主義よ！昔基督のクリスチャンは三萬の信徒で、五萬の孤兒。貧民を養ふたこ教會歷史が教へる。今日の教會は三萬の信徒が五千の孤兒をも養ふて居ら無い。昔の教會は人間の建築を念いだ。今の教會は、石造の建築を念ぐ。あゝ今日の石造の教會より救ふてくれ、百萬の勞働者が飢つゝあるに、百萬の戰爭孤兒が飢つゝあるに、百萬の盜賊が泣きつゝあるに、日本の教會は石を以て、福音を說かんこするか？、孤兒にパンを與へるに石を以てせずして　石を以てせんこするか、今日の日本の教會は萬國的矯激の缺けたるここよ。

（五）　化身主義の福音